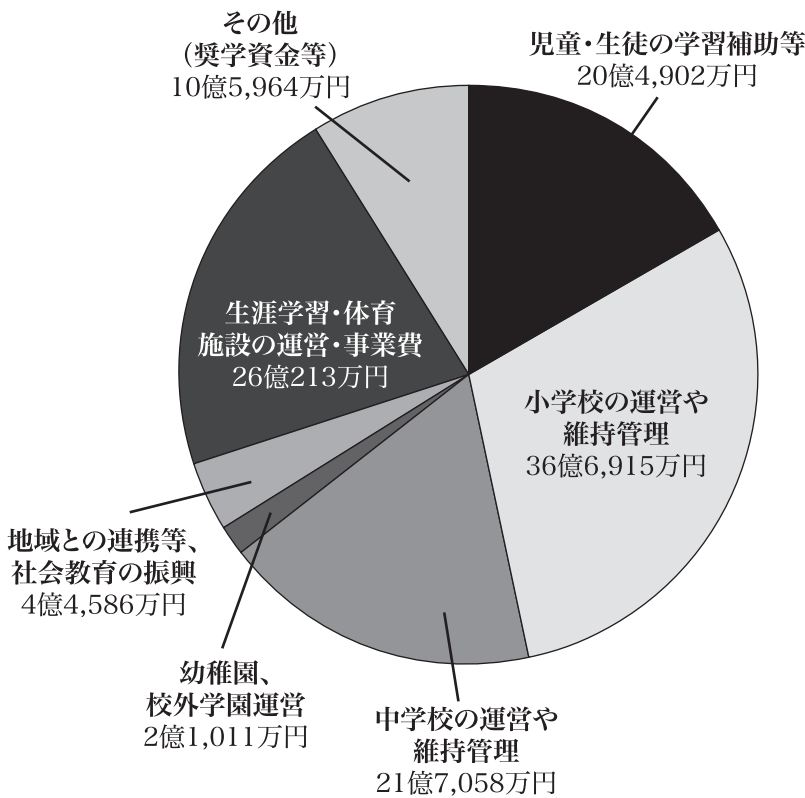


平成23年度教育費予算 122億648万5千円
 (内訳は1万円未満四捨五入)



教育費予算は、「教育目標・基本方針」や「葛飾区教育振興ビジョン」、「葛飾区生涯学習振興ビジョン」などに基づき、より必要性の高い施策に予算が重点配分されています。

このページで今年度予算の概要と、主な施策をご紹介します。葛飾区ホームページには、より詳しい施策の説明がございますので、そちらもあわせてご覧ください。

**平成23年度教育委員会
 予算概要・主な施策**

平成23年度 教育委員会 主な施策

【外部人材の活用による学力向上対策】

指導室 2億2,700万円

□学習支援講師・学習サポーターの配置

わかる授業を推進し学力の向上を図るため、教員免許を有し熱意ある人材を学習支援講師として60人配置するほか、個別指導の充実のために、授業中の学習補助を行う学習サポーターを、13人配置します。

□外国人英語指導補助員(ALT)の配置

新学習指導要領により、小学校の外国語活動が年間35時間になることに対応するため、小学校5・6年生の各学級に、外国人英語指導補助員を年間30時間程度配置します。

□クラスサポーターの配置

小1プロブレム(小学1年生が入学当初、授業中に落ち付かないことがある問題)に対応するため、必要な学級に、原則として1学期の間、クラスサポーターを25人配置します

【葛飾教育の日(土曜日授業)への対応】

学務課・指導室 1,100万円

今年度から月1回程度、「葛飾教育の日」として土曜日授業が行われますが、土曜日についても必要な人材の勤務を確保します。

【独自教材の作成】

指導室 300万円

小学校では今年度、中学校では来年度から、新学習指導要領に対応した新しい教科書が使用されるのに合わせて、本区独自の教材を作成し、各教科の理解を深め、学力の向上を図ります。

【学校教育の情報化の推進】

指導室 2億4,200万円

ICTの活用により校務を効率化して、教員が児童・生徒と向き合う時間を増やし、教育効果向上を図ります。

【小中一貫教育の推進】

教育計画推進担当ほか 1億9,600万円

区内2校目の小中一貫教育校となる高砂小・中学校の開校準備を進めるほか、新小岩学園の校庭一体化整備、上記の各校及び小中一貫教育研究校への学習支援講師の加配(本来の人数以上の配置)を行います。

【家庭教育の充実】

地域教育課 750万円

「かつしか家庭教育のすすめ」を保護者の皆さんに配布します。また、「ノーテレビ・ノーゲームデー」に関する講演会を行い理解促進を図るほか、「朝食レシピコンテスト」を実施し、優秀作を「朝食・早起き、朝ごはん食べよう」カレンダーの平成24年度版に掲載します。

【フィットネスパーク・

(仮称)新宿六丁目公園内施設の整備】

生涯スポーツ課 1億6,400万円

老朽化した水元体育館・温水プールの改築を中心に、水元中央公園、旧都立水元高校跡地の一部を一体的に運動公園・フィットネスパークとして整備するため、体育館の実施設設計を行います。

また、(仮称)新宿六丁目公園内に、多目的運動広場やテニスコートなどを整備します。